

○工業から工科へ（進路先決定者の変化）

	国公立 大学	私立 大学	短期 大学	専門 学校等	県外 就職	県内 就職	公務員	合計
令和4年 度卒 (工業)	7 _{(7)/9}	20 _{(20)/20}	2 _{(2)/2}	31 _{(31)/31}	42 _{(42)/44}	29 _{(29)/30}	6 _{(6)/7}	137
令和5年 度卒 (工科)	10 _{(10)/20}	44 _{(49)/59}	11 _{(11)/11}	29 _{(29)/29}	40 _{(40)/45}	23 _{(23)/23}	5 _{(5)/6}	162

※実際に進路に進んだ人数（合格数）/受験数

この表は令和4年度・5年度卒業生の進路先です。工業高校最後の年と工科高校最初の年ということで人数や割合が異なります。情報技術科がなくなり、普通科が2クラスできたことにより、進路決定した生徒数が25名増えましたが、専門学校等と就職人数に大きな変化はなく、国公立大学進学と私立大学、短期大学への進学人数が36名増えています。令和5年度の普通科の生徒の86%が進学しているため、進学割合が大きくなりました。

○今年度の進路希望調査（3学年）

	国公立 大学	私立 大学	短期 大学	専門 学校等	県外 就職	県内 就職	未定	公務員	合計
令和6年度	26	25	5	32	21	25	5	9	148

これは、今年の3学年の第一回進路希望調査の表です。生徒の皆さんは自分の進路決定に向けて頑張ってください。

人生は選択の連続ですが、進路の選択は今後の人生に大きな影響を与えます。どの進路がよかったかは、実際に進んでみないとわかりませんが、進学・就職関係なく、後悔しないように安易な選択はしないでください。



〇3年生へ

今年が勝負の年です。今年の頑張りが今後の人生に与える影響はものすごく大きいです。自分の進路達成のための情報収集を惜しまないでください。ここでの情報収集とは、第一希望だけではありません。第一希望が叶わなかった場合の第二、第三希望について時間をかけて考えられるのはこの時期だけです。目標を明確化したら、あとはひたすら目標に向かって努力しましょう。試験や面接が近くなるとみんな頑張るので他人と差をつけるために今からギアを上げていきましょう。

〇2年生へ

来年の今頃は、自分の進路に向けて努力しているでしょう。しかし、目標が明確でなければ努力のしようがありません。どの進路に進みたいかを決めることはもちろん、どんな人材が求められているのかを調べることが必要です。遅くとも3学期までには志望する進路先とその進路へ進むためにはどのような努力をすればよいかの道筋を立てられるように計画的に動いていきましょう。また、最近は何をやって何を考えたかを評価される傾向にあるため、進路によっては成績以外にもボランティアや地域と連携した活動のような学校外での活動によって有利になるケースがあります。3年生になってからではそのような活動をする時間がないので、2年生のうちに行動しましょう。インターネットを使って参加してもいいですし、不安であれば先生に相談するのもいいでしょう。まわりと差をつけるのか、差をつけられるのか2年生の時間の使い方で決まります。

〇1年生へ

高校生活が始まり、新たな友人との時間や部活動で忙しい人も多いと思いますが、勉学をないがしろにしてはいませんか？部活動もいいですが、まずは授業に力を入れることが大前提です。1年生で悪かった成績を挽回しようとしても、学年が上がるにつれて授業の難易度が上がるため、挽回するのは非常に難しいです。1年生の成績が悪く、進路先の変更をしなければならない生徒もいました。まだ、進路志望先が定まっていない人や調べる気がない人はやりたいことが見つかったときに後悔しないようにがむしゃらに授業に取り組みましょう。勉学が重要なのはわかったと思いますが、1年生の内にやってほしいことがあります。それはズバリ「色々な経験をする」ということです。みなさんは学校という世界しか知らない人がほとんどだと思います。1年生の内に世界の広さを知って自分の選択肢を広げることが2年生での進路志望先を決める上で大きく役立ちます。

